

江別市消防 10 年

**アクションプラン**

平成 26 年 3 月

江別市消防本部

## 目 次

1	プラン策定の背景と目的	.....	1
2	基本目標	.....	1
3	期 間	.....	1
4	プランの体系	.....	2
◎	重点項目1 消防組織体制の充実	.....	3
	推進項目1 人材育成と組織強化	.....	3
	推進項目2 消防団との連携強化	.....	4
	推進項目3 消防施設の整備推進	.....	5
◎	重点項目2 救急体制の充実	.....	6
	推進項目 救急需要対策	.....	6
◎	重点項目3 火災予防対策の推進	.....	7
	推進項目 防火意識の普及促進	.....	7

## 1 プラン策定の背景と目的

近年、多様化・大規模化する災害・事故等に的確に対応するため、第5次江別市総合計画の基本計画(H16～H25)に基づき、消防・救急体制を充実するとともに、災害や火災など「いざ」という時に応急手当や消火活動を行い、災害の最小化に努めるとし、市民の生命・財産を守り、安全で快適な都市生活の充実に努めてきたところであります。

しかしながら、この間、少子高齢化や人口減少等社会経済情勢の変化、甚大な被害をもたらす地震・台風等の大規模な自然災害が相次いで発生するなど、消防を取り巻く環境も大きく様変わりし、江別市においても、消防組織体制のさらなる充実強化や地域に根ざした消防団の活用と連携強化などが課題となっています。

また、全国的に見ても、総人口が減少傾向にある中で、高齢者の比率は増大するなど救急需要にも柔軟に対応できる体制づくりも求められています。

このプランは、「えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)」の策定に併せ、「江別市消防計画」をその個別計画とし、施策展開する必要がある組織計画などをより具体化し、10年間の方向性を示した具体的施策と位置付けます。

なお、「江別市消防計画」は、「消防組織法」(昭和22年法律第226号)第1条に規定する任務を遂行するための計画であり、「江別市地域防災計画」の消防に関する分野別計画として位置付けられています。

このことから、市民の信託に基づく効果的な消防力を発揮できる体制を再構築するため「えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)」や各施策事業との整合性等を踏まえ、今後10年間に於いて消防が推進する計画として策定するものであります。

## 2 基本目標

江別市の現状として、総人口ではやや減少傾向にあるものの、市街地の形成は今後10年間にあつては、ほぼ現状で推移していくものと考えられます。

しかしながら、全国の動向と同様に、今後江別市においても、災害・事故等の多様化・大規模化並びに建築物の大規模化・高層化などとともに、ますます高齢化が進むことが想定されることから、消防に対する需要はさらに増加するものと考えられます。

そうしたなか、市民からの期待に応えるために、本プランでは限られた経営資源を、より一層有効活用する方策などの検討を行い、さらなる「消防・救急の充実」を図るため、直面する課題の整理、さらには市の財政事情、地域を取り巻く環境等を考慮し、「だれもが安全で安心して暮らせるえべつ」をめざします。

## 3 期 間

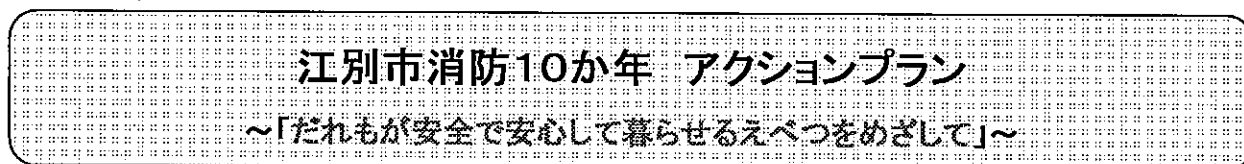
期間は、平成26年度から平成35年度の10年間とします。

なお、社会経済情勢の変化などに応じ、施策・事業はもとより、実施を目指す時期等についても毎年見直しを行うものとします。

#### 4 プランの体系

基本目標を達成するため3つの重点項目を定め、それぞれが抱える課題の整理及び今後進めていく施策の方向性を見出し、より具体的な施策・事業の展開を目指します。

#### 体系図



重点項目	推進項目	施策の方向性
1 消防組織体制の充実	人材育成と組織強化	複雑多様化する消防需要に対応するため、職員個々のスキルを向上させ、現場対応力の強化を図ります。また、効率的な組織と業務執行体制の構築を目指すとともに、地域防災対応力の向上を推進します。
	消防団との連携強化	地域防災力の向上の一翼を担う消防団が、地域との顔の見える関係づくりに努めることができるよう、より一層の連携強化を図ります。
	消防施設の整備推進	通常の火災、救急、救助事案さらには大規模地震、大規模複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応できる消防体制を構築する必要があります。そのため、地域防災活動拠点としての関係庁舎の耐震化を含めた改修のほか、老朽化が進んだ消防車両を計画的に更新するとともに、消防水利、機械器具等について、緊急度などを見極めつつ、計画的に整備を進めます。
2 救急体制の充実	救急需要対策	高齢化社会の進展等に伴い増加する救急需要へ対応するため、救急業務の高度化や救急車適正利用の啓発を推進します。また、市民への情報提供に努め情報の共有化を図るとともに、地域医療機関や関係部局等と連携した救急体制の充実強化を図ります。
3 火災予防対策の推進	防火意識の普及促進	火災予防運動をはじめとする防火思想の普及、放火をされない環境づくりや消火器の設置促進など、住宅防火対策を推進し、火災による被害の軽減を図ります。

## 重点項目 1 消防組織体制の充実

### 推進項目 1 人材育成と組織強化

#### 現状と課題

都市構造や生活環境が大きく変化し、災害や事故の様態が複雑多様化する中で消防への需要は増加しています。全国的には地震や台風等の大規模な自然災害が相次いで発生し、多くの犠牲者がでています。

消防に対する需要の専門化・高度化が求められている現状下、江別市においても職員の大量退職と重なり合い、組織的な対応能力の低下が危惧されます。

このことから、職員の専門的かつ総合的な研修体制の構築と強化が重要課題であり、消防活動等で必要となる資格・免許等の取得を計画的に実施し、日常業務から災害対応まで幅広い業務執行体制の確立を図るとともに、大規模災害時に備え、市民等への活動支援及び技術指導を今後も継続する必要があります。

#### 施策の方向性・具体的施策

複雑多様化する消防需要に対応するため、職員個々のスキルを向上させ、現場対応力の強化を図ります。また、効率的な組織と業務執行体制（資格・免許の取得を含む）の構築を目指すとともに、地域防災対応力の向上を推進します。

- ① 消防に対する需要の変化に伴い組織機構の見直しを図るため、広域的かつ効率的な業務執行体制を調査・研究し、市民対応の充実強化を目指します。（継続）
- ② 各種業務の専門化・高度化、また、退職に伴う有資格者の大幅な減少に的確に対応するため、知識・技能の伝承を行うとともに、指導的職員の育成を図り、計画的かつ効率的な職員研修体制の充実を図ります。（中長期）
- ③ 大規模災害に備え、地域に向けた活動支援を継続的に実施し、市民等の防災対応力の向上を目指します。（継続）

## 推進項目2 消防団との連携強化

### 現状と課題

消防団は、大規模で広範囲におよぶ災害において、その動員力や地元の情報に精通していることを最大限に発揮し活動するとともに、日常的な火災予防広報など、地域の消防・防災力の一翼を担っており、災害対応時には地域により密着した活動を行うことから、職員との連携強化は不可欠となっています。

一方で高齢化、被雇用者団員（サラリーマン団員）の増加、業務の多様化などの課題にも直面しています。

これらのことから、地域に根ざした消防団の体制を目指す必要があります。

### 施策の方向性・具体的施策

地域防災力の一翼を担う消防団が、地域との顔の見える関係づくりに努めることができるよう、より一層の連携強化を図ります。

- ① 消防団の自主的な活動・運営を支援し、地域の消防力を勘案した資機材等の整備に努めます。（継続）
- ② 消防団員確保のため、市内事業所等とのさらなる協力体制を図ります。また、消防団員の採用方法等調査・研究を行い、入団促進対策を推進します。（中長期）
- ③ 自主防災組織や福祉施設等への訓練参画等、地域との連携強化が図れるよう（顔の見える関係づくり）消防団活動を支援します。（継続）
- ④ さらなる消防団との連携強化にむけて「（仮称）江別市消防団のあり方検討会」を設置し、今後の体制などについて協議いたします。（短期）

## 推進項目 3 消防施設の整備推進

### 現状と課題

近年、防災拠点としての役割を担う消防施設の老朽化が進んでおり、これらの消防施設の整備には、多額な費用を要することが懸念されます。

そのため、老朽化が進んだ消防庁舎の計画的な整備を行うとともに、車両や消火栓等については、更新基準による整備を行っていく必要があります。

### 施策の方向性・具体的施策

通常の火災、救急、救助事案さらには大規模地震、大規模複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応できる消防体制を構築する必要があります。そのため、地域防災活動拠点としての関係庁舎の耐震化を含めた改修のほか、更新基準をもとに消防車両を計画的に整備するとともに、消防水利、機械器具等について、緊急度などを見極めつつ、計画的に整備を進めます。

また、かかる費用についても平準化するなどの対策を図ります。

- ① 消防庁舎については、地域防災活動拠点としての役割を勘案し、関係部局等との協議・調整を図り、計画的な改築や改修を進めます。また、江別市全体のまちづくりなどを視野に入れ、適正な配置に関する調査・研究に努めます。(長期)
- ② 消防車両等については、更新基準の年限を基本に走行距離などの車両状況を踏まえ、計画的に整備を進めるとともに、より効果的、効率的な装備品、資機材、車両の導入に関して調査・研究に努めます。(継続)
- ③ 消火栓などの消防水利については、関係部局と連携して効率的かつ計画的な整備に努めます。(継続)
- ④ 通信施設については、計画的な維持管理に努めるとともに、効率的な整備・運用体制に向けた調査・研究に努めます。(継続・中長期)

## 重点項目 2 救急体制の充実

### 推進項目 救急需要対策

#### 現状と課題

江別市の年間救急出場件数は、人口規模が類似した他の自治体と比較し、低い数値を維持しているところではあります。全国的にも救急需要の増加の一因と考えられる高齢者人口の増加により、将来的に救急需要が増大し、現在の救急体制における需要と供給のバランスに大きな変動が生じる可能性があることから、救急需要対策をより一層の推進を図る必要があります。

また、救急救命士が行う気管挿管や薬剤投与といった高度な救急救命処置は、救命効果の向上に大きく寄与するものであることから、これら救急業務の高度化に対応するとともに、救急に関する資格取得のため、計画的な研修体制を整備する必要があります。

さらには、事業所等におけるAED（自動体外式除細動器）の普及に伴い、市民の救命に関する意識の高まりから、AEDの取り扱いを含む救命講習会等の開催要望の増加に対し、応急手当指導員等の体制を整備する必要があります。

#### 施策の方向性・具体的施策

高齢化社会の進展等に伴い増加する救急需要へ対応するため、救急業務の高度化や救急車適正利用の啓発を推進します。また、市民への情報提供に努め情報の共有化を図るとともに、地域医療機関や関係部局等と連携した救急体制の充実強化を図ります。

- ① 応急手当普及啓発推進事業の再構築と計画的な応急手当指導員等の養成を図り、応急手当普及啓発活動を推進します。（継続）
- ② 救急車適正利用の普及啓発を推進します。（継続）
- ③ 救急資格者の計画的な養成と救急隊員の知識と技術の向上を目指し、教育・研修体制の充実を図ります。（継続）
- ④ 地域医療機関、関係部局等と連携し、高齢者の自己転倒等季節的に多くなる事故を未然に防止するなどの予防救急事業の展開を図ります。（中長期）
- ⑤ 本具体的な施策を推進するにあたり、「(仮称) 救急需要対策推進計画」を策定し、計画的に事業の推進を図ります。（中長期）



## 重点項目 3 火災予防対策の推進

### 推進項目 防火意識の普及促進

#### 現状と課題

高齢化社会が進展する中、全国的には高齢者等の住宅火災における焼死者の割合が依然として高い状況にあります。また、相次ぐ社会福祉施設等の焼死事故や増加傾向にある放火火災を防止するためには、地域と連携した住宅防火安全対策等の推進が必要不可欠であります。

#### 施策の方向性・具体的施策

火災予防運動をはじめとする防火思想の普及、放火されない環境づくりや消火器の設置促進など住宅防火安全対策を推進し、火災による被害の軽減を図ります。

- ① 建物火災による高齢者などの焼死事故を防ぎ、放火火災防止に向けた放火されない環境づくりを推進します。(継続)
- ② 「住宅用火災警報器」の維持管理や住宅用防災機器の普及促進など地域や関係部局と連携した住宅防火安全対策を推進します。(継続)
- ③ 事業所等における自主的な防火管理体制・保安全管理体制の推進強化を図ります。(継続)